

住宅を建てようとするとき、展示場を巡るたびに雑誌をめくって気に入った住宅メーカーに申し込む人が多いのでは。だが、設計事務所の建築士に依頼するのも手だ。建設費の「割」程度の設計料で、家族の生活様式に応じた住宅を提案してくれる。「まだまだ敷居が高い」という声に配慮し、札幌には十七日、住宅建設を考えている人と建築士の交流の場「建築家プラザリーヴ」もお目見えする。

## 費用建設費の1割 高い満足度

# 設計事務所で自由な家造り

小樽市に住む四十代の夫婦は昨年、違約金を払って住宅メーカーとの契約を破棄した。二千万円余りで百二十平方メートルの家を建てる予定だったが、予算内ではモデルハウスとはかけ離れた家しかできないと分かったからだ。

打ち合わせで「壁紙はこんな感じで」と望むと、担当者は「お客さまの予算では」と意に沿わない壁紙を提示。敷地が近くに近いため、「フェンスを造って」と頼むと、「それはオプション。追加予算が必要」との答えだった。契約後にこのメーカーが手がけた家を何棟か見たところ、「なんか小さな箱みたい。夢が一気にしぼんだ」という。

そんな夫婦を救ったのが一人の建築士。住宅雑誌で

見た設計事務所に電話し、新居は住宅メーカーのもとなりあえず会うと、親身にのより一割ほど面積が増え、フェンスや車庫、ロビーなど希望を聞いてくれる。「予算内に収まるプラン」を提示し、信頼を得た。夫婦は「間もなく完成ですが、広々としているし、こちら

## 要望、生活様式に細かく対応



「建築士を活用して満足のいく家を」と話す建築家プラザリーヴ主宰の飯田宣充さん(左)と、建築士の遠藤謙一良さん

## 情報提供のプラザ開設

が希望した以上のことがプランに盛り込まれた」と喜ぶ。建設費は「割」の設計料を含め住宅メーカーよりも若干高くなったが、「それでお釣りがくるぐらいの満足度」と語る。

設計事務所の建築士は設計と工事の監理だけを行い、施工はしないのが一般的。依頼主の要望や土地の形状、土質などを把握してから設計に取り掛かるため、生活様式に合った家造りが持ち味だ。

また、見積書の明細が分かりやすいのも特徴。出来上がった設計図を基に、複数の施工会社に見積書を出させるので、材料費や人件費などを細部にわたって比べられる。

欠陥住宅ができていくのも利点。工事が設計図通りに行われているかどうかを、建築士が「プロ」の目でチェックするので、設計図とは違つ工事がされていく場合、たちちにやり直しを命じられる。

道建築士事務所協会の飯田宣充さんは「競争原理が働くので、設計・施工が一体となった建設会社に依頼するのには、工費は経験的に15〜20%くらい抑えられる」と話す。

ただ、住宅メーカーのように規格プランがあるわけ

ではないので、どんな家になるか完成するまで想像しづらいのが難点。依頼主にとって、設計事務所選びは勇気がいるのも事実だ。

このため同協会は来年から、実績のある建築士を紹介する事業を始める予定という。同協会は011・231・3165。

札幌の「建築家プラザリーヴ」は、住宅雑誌などでおなじみの遠藤謙一良、川村弥恵子、松橋常世、石田雅男、大西正高の各建築士が中央区北西二〇に開設する。

さまざまな住宅模型を展示しているほか、これまで手がけた家の写真や、工費、設計料などのデータも見られる。建築士も無料で紹介するといふ。

主宰する飯田宣充さん(「ユニーク建築事務所」)は「建築士に設計を頼むと、すぐにお金がかかると思う人がいるが、総建設費の一割程度の設計料で、その家族に合った満足のいく家ができていく」と話す。

同プラザは午後一時から六時まで、月、火曜日は休み。十七日午後二時から住宅づくりのセミナーを開く。問い合わせは011・612・8110へ。

